

リハビリテーション科学、身体運動学、生体評価学

助教 宮崎 宣丞
Takasuke Miyazaki

現在の研究テーマと内容

ウェアラブルセンサーや超音波を用いて、「動作分析の技術を実際の臨床場面で活用すること」を目標に、以下のテーマでヒトの動作分析（歩行など）を中心に研究をしています。

- ウェアラブルセンサーを用いて、入院患者や地域在住高齢者の歩行を中心とした動作分析、歩行中の関節角度を使用した歩行練習などを行っており、各対象者に効果的な歩行練習の実現に向けて取り組んでいます。
- 超音波を用いて筋の収縮動態の可視化などを試みており、より効果的な運動療法の実施に向けて取り組んでいます。

これまでの研究成果と今後の展開

私たちは、入院患者に対するウェアラブルセンサーで計測した歩行中の関節角度をリアルタイムにフィードバックした歩行練習による即時的な歩行速度増加（Miyazaki T. Front Physiol. 2024）、大学野球選手に対する超音波を用いた投球側の棘下筋の収縮速度低下（Miyazaki T. JSES Int. 2024）などを報告しました。

現在は、ウェアラブルセンサーを用いた歩行計測、超音波を用いた下肢筋の収縮動態の定量化などに取り組み、動作解析機器の臨床応用に向けた取り組んでおります。

大学院を目指すみなさんへメッセージ

「動作分析の技術を実際の臨床場面で活用すること」を目標に、ヒトの動作分析（歩行など）を中心に研究をしています。動作解析機器の臨床応用により、動作を数値化することで、運動処方や効果判定に役立ち、より効果的な理学療法の提供につながると考えています。大学院の進学に興味がある方は、お気軽にお問い合わせください。

E-mailアドレス：miyazaki-tk[at]kumamoto-hsu.ac.jp ([at]を@に変換)